【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公表番号】特表2007-514158(P2007-514158A)
【公表日】平成19年5月31日(2007.5.31)
【年通号数】公開・登録公報2007-020
【出願番号】特願2006-543684(P2006-543684)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｔ　7/00　(2006.01)
Ｇ０１Ｔ　1/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｔ　7/00　Ａ
Ｇ０１Ｔ　1/20　Ｇ
Ｇ０１Ｔ　1/20　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月30日(2007.11.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項９】
前記シールドの材料が、Pb，W，Mo，Ta，Ti，$BaSO_4$，$BaCO_3$，BaO，$PbCO_3$，$PbCl_2$，$PbSO_4$，TiO_2又はZnOの少なくとも一つを含むことを特徴とする、請求項１に記載のＸ線検出器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１０】
前記材料がエポキシ樹脂に埋め込まれていることを特徴とする、請求項９に記載のＸ線検出器。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１２】
センサユニットの層の前に配されるシンチレータユニットの層を有し、前記シンチレータユニットはＸ線に対しては高いシールド効果を持ち前記シンチレータユニットで作られるフォトンに対しては高い反射性を持つシールドにより互いに分けられている、層に配される検出素子を具備するＸ線検出器。